

津軽白神 ふれあい通信

津軽白神森林生態系
保全センター

平成26年9月26日発行 No.100



「津軽白神ふれあい通信」100号に寄せて

津軽白神森林生態系保全センター 非常勤職員 原田正春

(初代所長 平成18年4月1日～平成21年3月31日)

平成18年4月、全国第11番目のふれあいセンターが鱒ヶ沢町に誕生しました。

私は、その2年前に、最後の鱒ヶ沢事務所長を努め、事務所廃止の説明に出向いた際、当時の鱒ヶ沢町長とふれあいセンター設置の会話をしましたが、当時はまだ雲をつかむような話で、その後に実現の目処がついた時は、ほっと胸をなで下ろしたものです。



また、縁あって、初代ふれあいセンター所長となり、新たなセンターの運営に当たっては、町を挙げて協力していただきました。

無事開所式を終えた後は、ふれあいセンターが地元に対して何ができるかについて自治体や学校に出向いて説明をして回りました。(現在は鱒ヶ沢町の2小学校が、毎年学校の行事として自然再生活動に参加している)

自然観察会にも取り組みましたが、当初は、センターの知名度が低く、参加希望者が少なく対応に苦勞しました。

そのため、冬期に活動展を実施して写真パネルなどを展示して教宣に努めました。(現在はリピーターも多く、自然観察会等は抽選で実施している)

幸いにして、ホームページを早々に立ち上げることができ、毎月1回のふれあい通信の定期発行は、とても重要な取り組みとなっています。

学識経験者、ボランティア団体等の委員による「白神山地周辺の森林と人との共生活動に関する協議会」が設置され、センターの活動に提言をいただく体制が整いました。

名称が「森林生態系保全センター」となり、これまで以上に世界自然遺産白神山地と関わりが深まり、巡視活動やモニタリング調査、さらにはニホンジカ対策にも積極的に取り組むこととなり、体力的にもきつい面もあると思いますが、職員同士連携を深めて、津軽森林管理署および地元の協力を得ながら、センターの存在意義を十分に発揮していただくようご祈念申し上げます。

青森市内の親子を対象に森林教室を実施しました

8月30日（土）発達障害児・者とその親の会「青森LD（学習障害）親の会『こんぺいとう』」の親子17名（小学2年生から高校生まで）の皆さんを対象に植樹イベントを実施いたしました。

当日、晴天の青森市を出発し西目屋村の「遊々の森」に到着しました。

イベントでは、ブナをはじめとする広葉樹の苗木を林内に植え付けました。はじめは不慣れでしたが職員の手ほどきを受け、徐々にクワの扱いにも慣れてきたようです。植え付け後はプレートへ思い思いのメッセージを書き入れ、苗木の生長を願いました。

昼食前には、白神山地を象徴するマザーツリーまでの散策をしました。去年は植樹イベントもマザーツリーまでの散策も大雨に祟られて震えながらの見物でしたが、今年は天候にも恵まれ、子供達は滅多に目にすることができない巨木を堪能していました。

午後からは暗門の滝までの散策を計画していましたが、こちらは天候が急変し大雨になってしまいました。



去年のリベンジをかけていた子供達もいましたが、暗門の滝はリベンジとはなりませんでした。

帰りの道すがら、白神山地ビジターセンターの展示を見学し、ビーチにしめやでお土産を買い求め青森への帰路につきました。

参加した父兄からは、来年も機会があれば是非とも暗門の滝へ行きたいとの話をされました。

鱒ヶ沢町内の小学生を対象に森林環境学習を開催しました

9月4日（木）9月5日（金）の両日、鱒ヶ沢町内の小学生を対象に森林環境学習を実施しました。

9月4日は町立西海小学校の5年生児童24人を対象に実施しました。

学校を出発する時には曇り空で雲行きが心配されましたが、植樹会場ではほんの少しだけ雨がこぼれただけで、無事に一人あたり3本程度のブナをはじめとする広葉樹の苗木（6月の自然再生活動で採取したもの）を植え付けられました。

昼食後はくろくまの滝までの散策をしました。散策の途中で大粒の雨がこぼれてきました。ただし、この雨も長くは続かなかったので皆無事にくろくまの滝までの散策を終えることができました。

中には以前にもくろくまの滝を見た児童もいたようでしたが、あらためて見る滝の迫りに圧倒されていました。



9月5日は舞戸小学校4年生の児童33名を対象に実施しました。

前日の夕方から降り続いた雨が心配されましたが、イベント会場に到着する頃にはすっかり雨もあがり、晴れ間も見える天候になりました。この日の小学校4年生には、作業用のクワは重かったようで、大人の手を借りてブナなどの苗木（7月の自然再生活動で採取したもの）を植え付けていました。午後からのくろくまの滝への散策も天候に恵まれ、この日も子供達は滝の迫力に圧倒されていました。



第3回合同パトロールを実施しました

9月20日（土）今年度3回目の白神山地世界遺産地域合同パトロールを①西股ノ沢、②大川、③クマガラの森、④白神岳、⑤暗門の滝の各コースで実施しました。

この日は天候にも恵まれ、暗門の滝では多くの観光客が訪れていました。

マナー啓発用に準備したポケットティッシュは早いうちに品切れとなり、パンフレットも予定した枚数を配布し終えるなど、多くの入山客で賑わっていました。

パトロールの結果、残念ながら一部のコースでマナー違反が見受けられました。

白神山地の保全は入山者お一人お一人の皆さんのご協力があってこそできるものと思いますので、今後とも入山マナー向上へのご協力をお願いいたします。

東北森林管理局・森林管理署等のイベント

詳細は森林管理署等へお問い合わせください

10月30日（木）「鍋腰峠の二次林と晩秋の紅葉」 宮城県加美町

25名 参加費200円

宮城北部森林管理署 TEL 0229-22-2074

・10月中旬「森林教室」 秋田県東成瀬村

20名 参加費未定

秋田森林管理署湯沢支署 TEL 0183-73-2164

・10月23日（木）「中丸山の紅葉と治山事業」 山形県上山市

30名 参加費100円

山形森林管理署 TEL 0237-86-3161

・10月25日（土）「遺産の森二ツ森&留山のブナ林」 秋田県八峰町

参加費3000円

藤里森林生態系保全センター TEL 0185-79-1003

～職員のコラム～

津軽白神森林生態系保全センター 一般職員 久保翔太郎

今年から当センターに配属になりました久保です。

こちらに転勤し、日に日に青森の魅力に惹かれていきます。白神山地はもちろん、時折暴れまくっていますが穏やかな日は最高の夕日を見せてくれる日本海、十二湖や赤石川、岩木山など魅力を語ると次々出てきます。

そして、数ある魅力の中でも今一番私が心奪われているものは、鱈ヶ沢名物イカ焼きです。

金曜日に仕事が終わるとちょっと遠回りしてイカ焼きとビールを買います。日課のランニングをいつもより長めにし、運動後の体にビールを供給しつつ食べるのが最高です。イカ焼きとビールは二人で一つです。イカ本人たちもそう思っているとおもいます。

今後たくさんの青森の魅力にふれることを楽しみに、そして地球の宝物である白神山地に携われる事にうれしさと誇りを持ち、一生懸命業務を行っていきたいと思います。

森林教室「秋の白神山地に学ぶ～十二湖～」を開催します

当センターでは秋の森林教室を開催いたします。皆様のご参加をお待ちしております。

開催日 平成26年10月25日(土) 青森市役所柳川庁舎前 7:10発

開催場所 青森県深浦町 十二湖自然休養林

募集人員 30名(応募者多数の場合は抽選といたします。)

その他 参加費200円(傷害保険料実費額)昼食、雨具等ご持参ください。

募集期間 9月25日(木)～10月10日(金)

急募!自然再生活動!

～白神山地にブナの種を蒔こう～

～作業終了後は、赤石溪流の紅葉を堪能できます!～

当センターでは下記により今年度最後の自然再生活動を開催いたします。皆様のご参加をお待ちしております。

開催日 平成26年10月30日(木) 青森市役所柳川庁舎前 7:10発

開催場所 青森県鱈ヶ沢町 東赤石山国有林内

募集人員 20名(応募者多数の場合は抽選といたします。)

その他 参加費200円(傷害保険料実費額)昼食、雨具等ご持参ください。

募集期間 9月30日(木)～10月15日(水)

津軽白神森林生態系保全センターホームページ

<http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/syo/tugarusirakami/index.html>